

消 火 器 の 部

湖 南 防 火 保 安 協 会

消火器の部

【訓練規定】

1 使用器具等

消火器は、支部で準備した水消火器を使用する。

装備品は、ヘルメット、手袋、警笛、強力ライトとし、出場者で準備する。

ただし、準備できない場合は支部で準備したものを使用する。

※警笛、強力ライトは、首または肩に掛けられるものとする。

※手袋は、革手袋・軍手等指定しないが、皮膚が露出しないものとする。

2 服 装

出場者の服装は、訓練に適したもので、長袖・長ズボンとし、袖は手袋をはめた状態で皮膚が見えない長さ、ズボン裾、靴下は皮膚が見えない状態であること。靴は、訓練に適した運動靴（安全靴可）とする。

3 訓練要領

別に定める消火器操法訓練要綱のとおりとする。

4 進 行

スタートラインに整列し、スターターのピストルの合図によりスタートする。

5 風 向

風向はスタート側から標的方向とし、退出路はスタート側とする。

【審査規定】

1 審査範囲

(1) 操法動作審査

全体動作に係る、各操作等の行動が適しているか否かの事項および総合的な事項について審査する。

スターターのピストルの合図から「消火完了報告」までとする。

(2) 所要時分審査

基準タイム60秒とし、スターターのピストルの合図から全ての標的が落下した時までを計測する。

2 失格等

(1) 出場時にスタートラインに整列しない場合は、失格とする。

(2) 出場者が搬送してきた消火器と従業員③が搬送してきた消火器、計2本の消火器で標的を落とせなかった場合は失格とする。

(3) 訓練実施中、出場者に不測の事故が発生し、訓練の続行が不可能と認められる場合は、審査長の判断により「中止」または「再訓練」を決定する。

3 入賞の決定

基準タイム内にゴールし、審査項目の否がない出場者を入賞とする。

また、同点数の場合は、所要時分の速い者を上位とする。

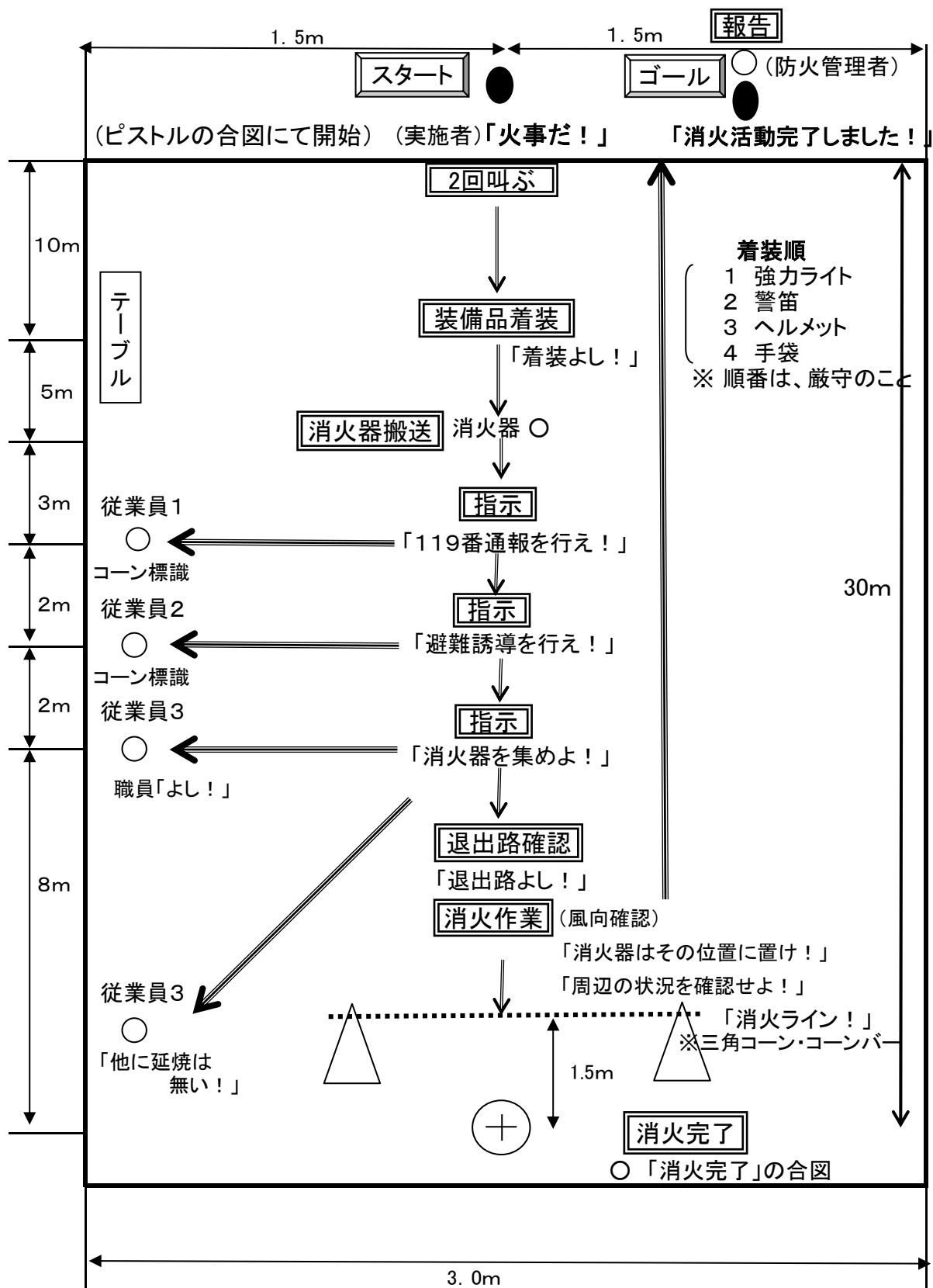
消 火 器 の 部 (操 法)

1 実施人員 1名

2 実施要綱

項 目	要 綱	係 員
スタート	ピストルの合図により開始する。	
	「火事だ！」と大きな声で2回叫ぶ。	
装備品着装	装備品を確実に強力ライト、警笛、ヘルメット、手袋の順に着装し、「着装よし！」と呼称する。	
消火器携行	消火器を携行搬送する。	
指示	「火事だ！」を聞きつけ駆けつけた従業員に指示を与える。	
	119番通報を指示する。 「119番通報を行え」	従業員① (コーン標識)
	避難誘導を指示する。 「避難誘導を行え」	従業員② (コーン標識)
	消火器の搬送を指示する。 「消火器を集めよ」	従業員③ (職員「ヨシ」)
退出路確認	「退出路よし」と指差し確認呼称する。	
消火	消火器を操作して消火作業を行う。 (三角コーン・コーンバー設置側から)	
指示	消火器を搬送してきた従業員③に指示を与える。	従業員③ 「消火器準備 ヨシ」
	「消火器はその位置に置け」「周辺の状況を確認せよ」	従業員③ 「ヨシ」
消火完了	周囲の状況を確認した従業員から、「他に延焼は無い」と報告を受ける。	従業員③ 「他に延焼は 無い」
	係員から「消火完了」の合図を受けスタート地点へ戻る。	消火担当係員 「消火完了」
報告	防火管理者に消火完了報告。 「消火活動、完了しました」	防火管理者 「ヨシ」

消火器の部全体図

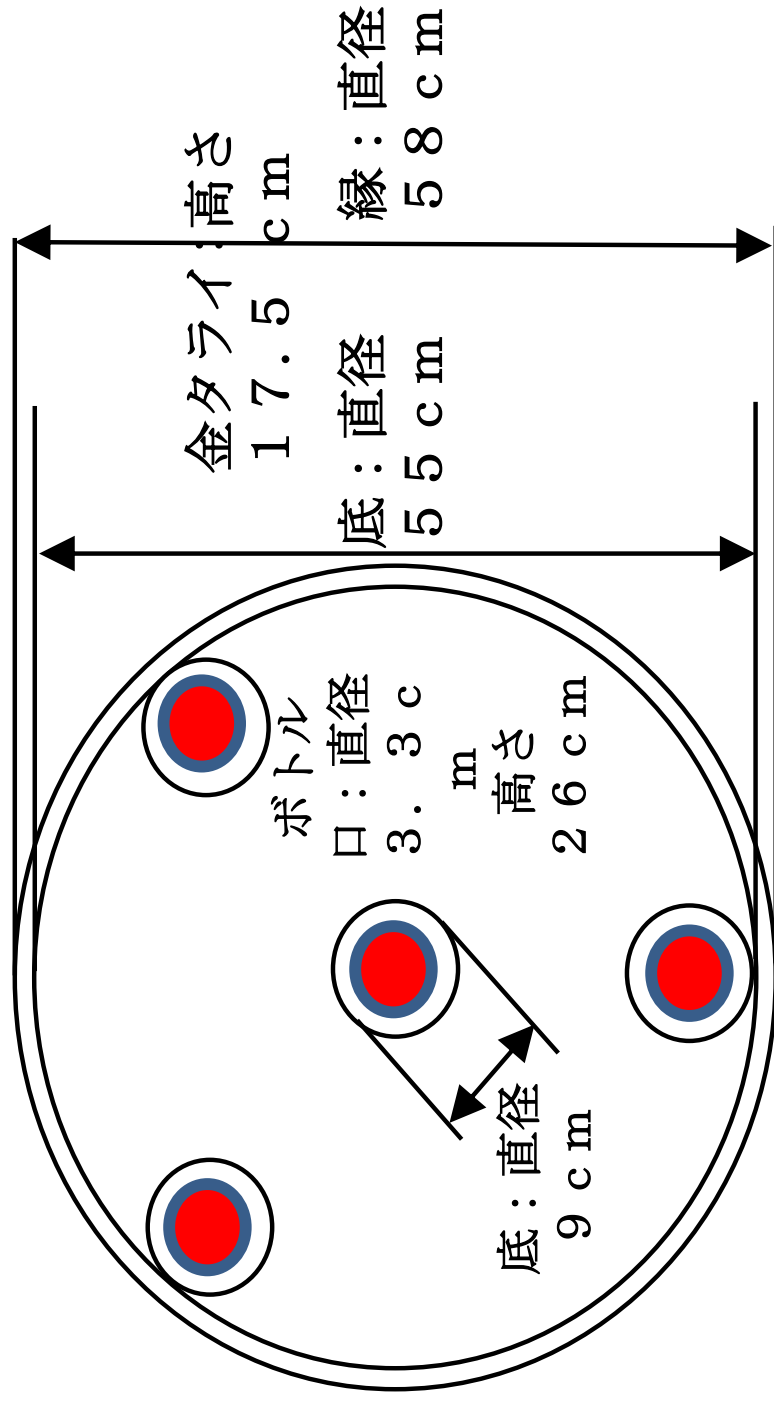


消 火 器 の 部 詳 細

- ・ 標的は、アルミボトル缶の上にボール（野球軟式ボールA球）を置いた物を4本とし、標的落下は4本全てのボールを落とした時点とする。
- ・ 出場者はスタートの合図の後、スタート位置にて火災発生を周りの人に知らせるため“明らかな大声”で「火事だ！」と2回叫ぶ。
- ・ 装備品（ヘルメット、手袋、警笛、強力ライト）は、コース備え付けのテーブルに準備するが、置く位置は自由とし、着装順は強力ライト・警笛・ヘルメット・手袋の順とする。また、着装が完了した時点で「着装よし！」と呼称する。
- ・ 警笛および強力ライトは、同時に着装することなく首もしくは肩に掛け、消火器搬送の支障にならないようにする。（強力ライトと警笛を同時に着装した場合は、着装不適とする。）
- ・ 強力ライトよし」「警笛よし」「ヘルメットよし」「手袋よし」とそれぞれに呼称して着装しても採点対象外とするが、最後に「着装よし！」の呼称をすること。
- ・ 「火事だ！」の呼び掛けを聞きつけ駆けつけた従業員を所定の位置に待機させる。
- ・ 指示する従業員3名のうち、「119番通報」と「避難誘導」の従業員をコーン標識に代え、「消火器収集」の従業員③は担当者を充てる。
- ・ 従業員①・②・③に指示をする時は、必ず従業員①から③の範囲の前で1度停止し、指示を行うこと。なお、指示をする場合は従業員に対し指差しにて行うか、従業員それぞれ3人の方向に顔を向けて行う。
- ・ 消火ラインとして設定されたコーンバーの前で止まり、退出路方向を確認後、「退出路よし」を指差し確認呼称し、消火器を地面に降ろしてから、「消火器の操作」である「安全ピン」を抜く。
- ・ 呼称前に消火器を置いてもいいが、消火器を持ちながらピンを抜くことはいけない。
- ・ 消火位置は、標的の中心から1.5m地点に、消火ラインとして設定されたコーンバーの外から行う。
- ・ 「消火器収集」の指示を受けた従業員③は、指示を受けた後、付近に設置されている消火器を持ち、消火している出場者の約1m後方まで搬送し、標的が落下した時点もしくは消火器の水がなくなった時点で「消火器準備よし！」と出場者に報告する。
- ・ 従業員③の「消火器準備よし！」と消火器搬送報告を受けたら、従業員③の方向に顔を向け、「消火器はその位置に置け！」と指示し、標的が落下していなければ消火を継続し、消火が完了していれば、「周辺の状況を確認せよ！」と指示する。
- ・ 上記指示を受けた従業員③は、周囲を指差し確認し、「他に延焼は無い！」と出場者に報告する。
- ・ “消火”担当係員は、上記報告完了を確認したら「消火完了」と赤旗等で合図する。
- ・ 出場者は、「消火完了」の合図を確認した後、スタートラインに戻り、防火管理者に「消火活動完了しました！」と報告し訓練を終了する。
- ・ 指示や報告の言葉は、目的を明確にした言葉なら要領に類似した言葉でも良い。ただし、言葉が早すぎたり、声が小さく聞き取りにくければ「指示不適」となる。
- ・ 三角コーンやコーンバーを転倒や落下させた場合は危険行動として「行動不適」とする。

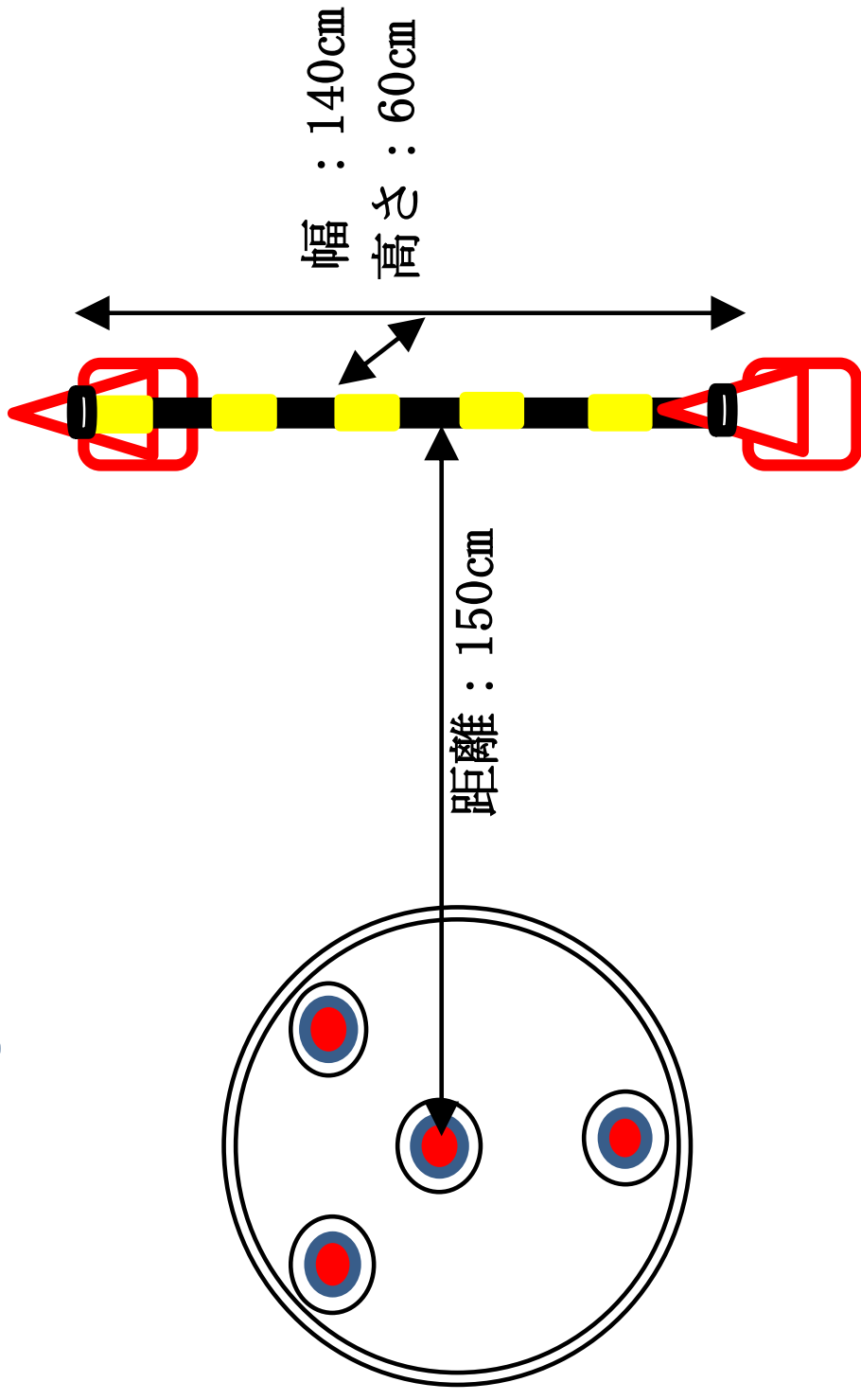
消火器の部 標的詳細

標的：●軟式野球ボールA球



消火器の部 消火ライン詳細

標的：● 軟式野球ボールA球



消火器の部審査表

組		コース		事業所		氏名	
						審査員氏名	

	項目	適否
操作項目	「火事だ！」と大きな声で2回叫んだか。	適 ・ 否
	装備品を確実に着装し、「着装よし」の呼称をしたか。	適 ・ 否
	119番通報を指示したか。	適 ・ 否
	避難誘導を指示したか。	適 ・ 否
	消火器の搬送を指示したか。	適 ・ 否
	退出路を確認したか。	適 ・ 否
	消火器操作は適正か。（その場に置いて、安全栓を抜く、ホースを火元に向ける、レバーを握る）	適 ・ 否
	消火姿勢は適正か。（安定した姿勢で操作したか）	適 ・ 否
	消火の位置は適正か。（消火ラインのコーンバー外から消火したか）	適 ・ 否
	追加消火器の位置を指示したか。（風上に指示したか）	適 ・ 否
	周囲の状況確認を指示したか。	適 ・ 否
	報告は適正か。	適 ・ 否
適の数		/12
総合	安全性はどうか。（器具の落下や踏みつけ等、服装の乱れ、転倒）	適 ・ 否
	確実性はどうか。（要領遵守の動作であるか、指示が明確であるか）	適 ・ 否
	迅速性はどうか。（各動作の流れ、タイム計測外での手抜き等）	適 ・ 否
	士気・規律はどうか。（声の大きさ、誇張など不要な態度等）	適 ・ 否
適の数		/4
総合点合計		/16

計時員 1	計時員 2
秒	秒

平 均
秒

消火器の部計時審査表

組		コース		事業所		氏名	
---	--	-----	--	-----	--	----	--

審査員氏名		
-------	--	--

計 時 員 1	計 時 員 2

平 均 タ イ ム

★ スタートの合図(ピストル)から標的(ボール4個)が全て落下するまでの
タイムを記入して下さい。

★ 小数点第2位まで記入して下さい。

★ 平均タイムは、集計係が記入します。